## 「情報の目詰まり」を なくし、特色ある都市に

公益社団法人 日本経済研究センター 主任研究員 淳さん

Kiyoshi Kusaka

## 改革の遅れに警鐘

まちづくりの方向について、ご提案いただきます。 する皆様に、東京から見た静岡市の良さと可能性 |岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍

言をしている。 するさまざまな調査、分析をし、公表、提 をはじめアジア経済予測など、経済に関 クタンク。短期、中期、長期の各経済予測 センターは、日本を代表する民間のシン 1963年に設立された日本経済研究

サス」調査の運営責任者。「アジア・ASE 年4月に立ち上げた「アジア・コンセン 日下さんは日本経済新聞社の出身で

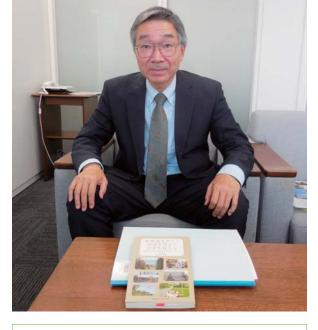
> って分析し、年4回、四半期ごとに英文レポ に対し経済見通しや、リスク認識をうかが AN主要国、インド等の著名なエコノミスト トとして出しています」。

らないと中長期的には相当厳しい状況に なると思います」と警鐘を鳴らす。 を伴うような大胆な改革と規制緩和をや けると思います」としつつも、「潜在成長率 変化がない限り、短期的には何とかやってい 、わゆる底力や競争力が落ちており、痛み 日本経済については「外部環境に大きな

の上で、地方を元気にするには、まず政 まざまなメニューを考えて総合的に政策 ョン(安易な解決策)はない」と話す。 治家のリーダーシップが必要です。首長さ を執行しなければいけないと思います。そ い時代。まちづくりに「マジックソリューシ 議会もそうです」。 んはもちろん、予算の承認権などを持つ ニーズやサービスの多様化、変化の激し

に結び付けていくかがカギのように感じま 業の力をどうやって引き出して、活性化 とが重要ですね。そして民間や地域、 同時に「、情報の目詰まり、をなくすこ

らうれしいですね」。 す。、遊び心、があるのもいい」と指摘する。 説明できる、そういう都市になってくれた 白い取り組みをしているとか、何か一言で 防災先進都市だったり、或いはこういう面 説明しにくい」と率直に語る日下さん。 ことを聞かれると、特徴ある都市として 例えば日本の情報公開先端都市とか 海外のエコノミストたちから静岡市の



静岡市葵区出身。県立静岡高校卒業。東京大学経済学部卒業。米ウイスコ シン大学特別留学生。1980年、日本経済新聞社入社。東京本社経済部、 ブリュッセル支局長、国際部次長兼キャスター、欧州編集総局長(ロンド ン)などを経て、2014年から現職。59歳。

アジアや欧州の経済、EU問題に明るい。主な著書に「EU統合 草の根の 現実」(日本経済新聞社)、東海道を東京から京都まで歩いた道中を記した 「東海道を歩こう 地域を見よう 日本を語ろう」 (講談社エディトリアル)。 https://www.icer.or.in/

(文·写真:長田義明

## 政治家のリーダーシップ

ができますね」。 る意味、世界の中の日本を肌で知ること ある所、ない所がはつきりわかります。あ 向くことも。「街道を歩いていると、同じ ような条件下の地域でも元気や活気が 休日に街道歩きや、東北の被災地に出